

論点1

歩行者空間の創出

歩行者空間の創出の歴史

歩行者空間の創出の取組の歴史

1970年代～ 歩行者天国の実施

- 北海道旭川市「平和通」で初めての社会実験(S44)
- 銀座、新宿、池袋、浅草で実施(S45)
- 北海道旭川市「平和通買物公園」で恒久的歩行者天国の開設(S47)
- 神奈川県横浜市「イセザキモール」恒久的歩行者天国の開設(S53)
- 東京都八王子市「ユーロード」恒久的歩行者天国の開設(S62)
- 日本橋「仲通り」(H27)

2000年代～ オープンカフェの実施

- 広島市「平和大通り」で公開空地を活用した初のオープンカフェ事業(H10)
- 国による全国での社会実験実施(H13～H17)
- 千代田区「丸の内仲通り」公開空地活用(H16)
- 新宿区「モア4番街」道路占用許可の特例を初めて適用(H24)
- 港区「新虎通り」(H26)
- 大丸有、新宿副都心、大崎、蒲田等で国家戦略特区による実施予定(H27)

社会情勢

- 1960～70年代にかけて、自動車の急増が世界的問題となり、欧米をはじめとして市内中心道路を歩行者専用道路(カー・フリー・ゾーン)とする政策実施
- 日本でも自動車の急増による事故や環境問題への配慮により、道路交通を車優先から歩行者中心の交通への転換が求められる
- 都市の魅力創出、地域振興のための道路空間活用への期待が高まる
 - 「道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン」の策定(H17)
 - 都市再生特別措置法の一部改正による「道路占用許可の特例制度」(H23)

歩行者空間の現状と課題

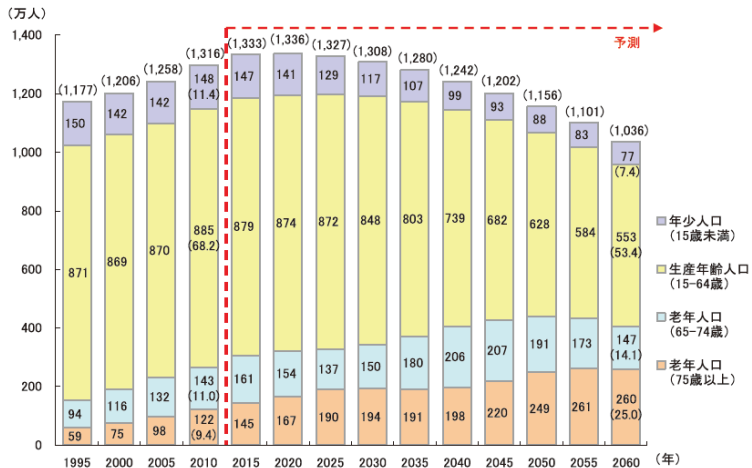
歩行者空間の創出の背景

〈概ね20年後までに実現する主な交通インフラ〉



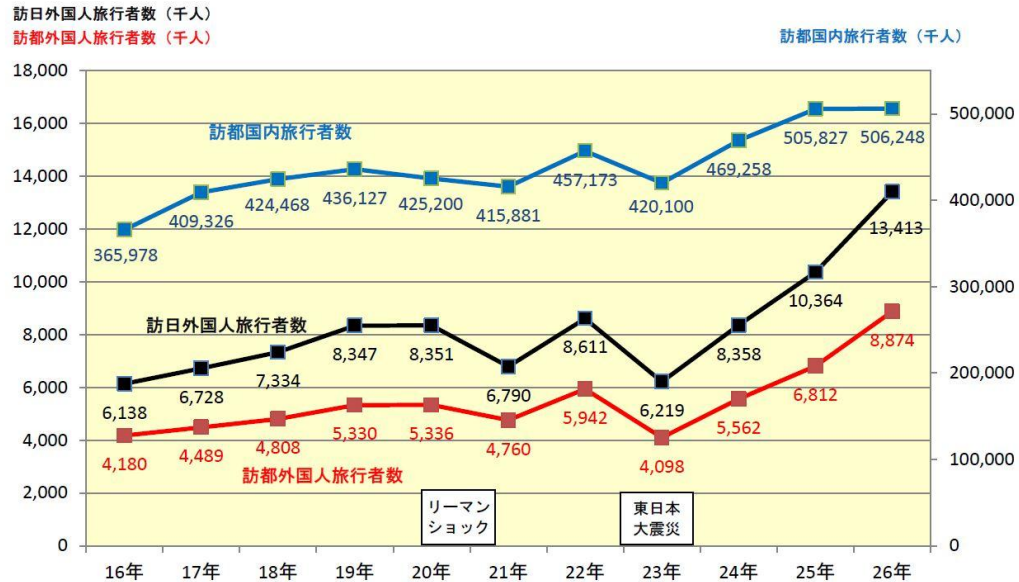
将来の交通インフラとして、首都圏三環状道路、リニア中央新幹線の開通や羽田・成田両空港の機能強化などが実現しているものとする。

〈東京都の年齢階級別人口の推移〉



出典: 東京都長期ビジョン

〈訪日・訪都外国人旅行者数及び訪都国内旅行者数の推移〉



出典: (公財)東京観光財団
訪日外国人旅行者数
訪都外国人旅行者数及び訪都国内旅行者数

「訪日外客数」(JNTO)
「東京都観光客数等実態調査」(東京都)

歩行者空間の創出の現状と課題

- ◆ 歩行者空間の創出の通年化や荷捌きの調整等、共通課題に対する情報共有の場が無い。
- ◆ 回遊性の向上・賑わいの創出のための取組のネットワーク化、歩行者の視点からみた空間の質を高めるデザインなどの取組が不足している。

池袋



【検討主体】 現庁舎周辺まちづくりビジョン
連絡会 等

新宿



【検討主体】 ・新宿駅前商店街振興組合
・新宿副都心エリア環境改善委員会

<ターミナル駅周辺の取組>



秋葉原



【検討主体】 千代田区 等

歩行者空間の創出の現状と問題

大丸有



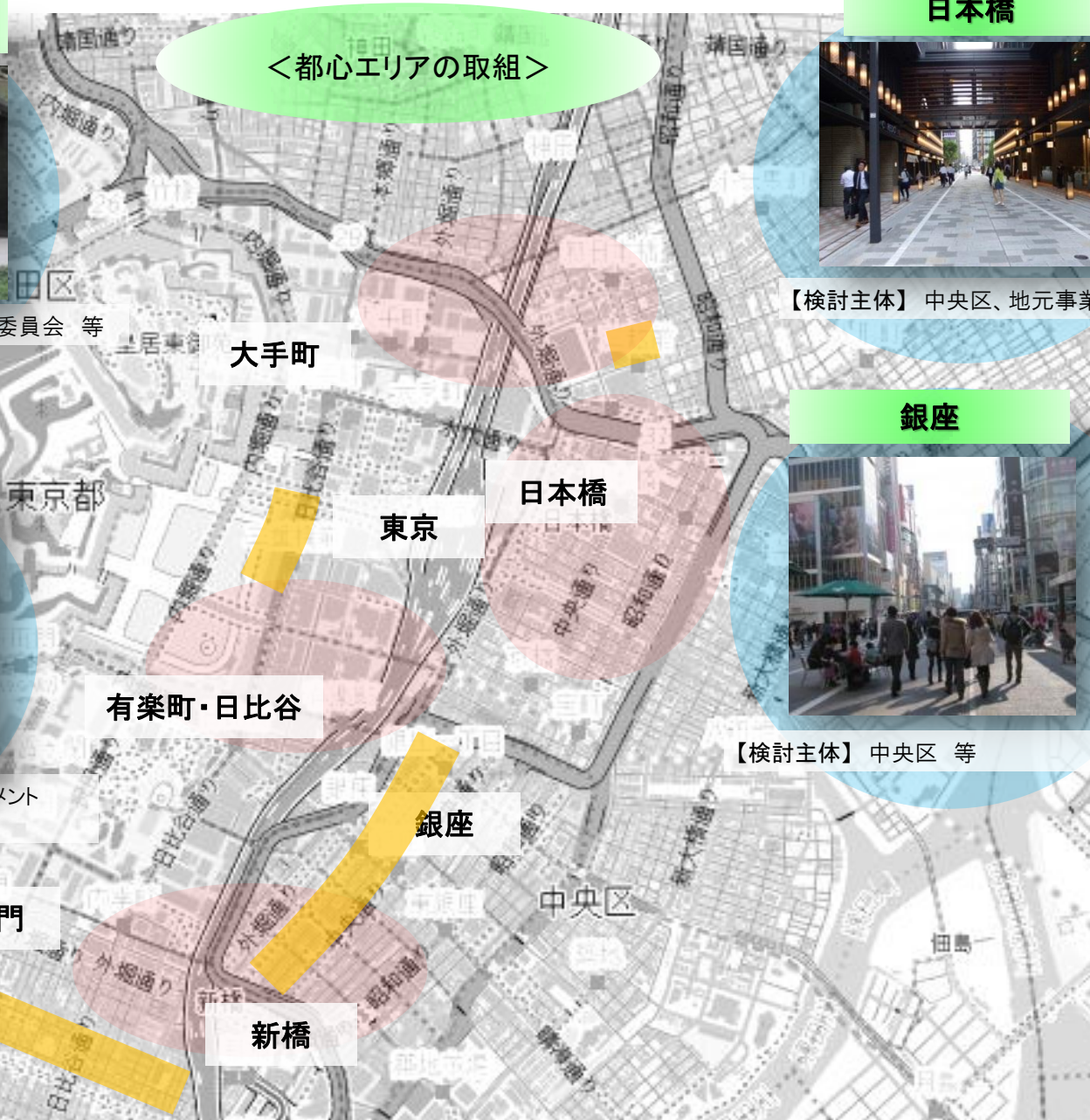
【検討主体】大丸有 公的空間活用委員会 等

日本橋



【検討主体】中央区、地元事業者 等

＜都心エリアの取組＞



新橋・虎ノ門



【検討主体】新虎通りエリアマネジメント協議会 等

銀座



【検討主体】中央区 等

虎ノ門

新橋

歩行者空間の創出の 施策展開(アウトプット)イメージ

歩行者空間の創出の方向性

- ・ 歩行者空間の創出の目的は、歩く人の増大とともに、交流を促進することにより、まちに賑わいを生み出すことにある。
- ・ 歩行者空間の創出を実施するにあたっては、来街してもらいたい目的、訪れてもらう目標の設定、テーマの設定、そしてそれをみせるシナリオやストーリーにもとづいて、創出する。
- ・ また歩行者空間のネットワーク化は、賑わいを構成する要素(歴史・文化、楽しさ等)を持つ地域をつなぐことによって、回遊性をたかめ、それにより全体としての賑わい、楽しみを創出することが目的である。



歩行者空間の創出とネットワーク化

歩行者空間の創出のアウトプット

(仮称)ランブリング東京
戦略の展開

歩行者空間の
魅力向上支援

歩行者空間の創出の
取組促進・支援



アウトプット

歩行者空間の創出と
ネットワーク化

(仮称)ランブリング東京 戦略 (案)

「(仮称)ランブリング東京」戦略の策定 (The Rambling Tokyo Strategy)

1) 基本方針

まちづくりと連携し、道路空間を活用した歩行者中心の空間創出を促進することにより、まちの歴史や文化を感じられる賑わいを創出する

2) 考え方、取組内容

I 歩行者空間の創出と魅力向上支援

歩行者通行者数の増加や回遊性の向上、滞留時間の増大を目的とし、歩行空間の安全性を確保しながら、次の取組について検討

- ① 歩行者空間のサイン、ストリートファニチャのデザインの統一等による空間の質の向上策
- ② 歩行者空間のネットワーク化
- ③ 道路空間等と公開空地等との一体的利用
(街路樹や憩えるみどりの連続した環境軸の創出等)

II 歩行者空間の創出の取組促進・支援

- ① 歩行者空間の創出の手引書(マニュアル)・デザインガイドの作成
(共通課題、エリアマネジメントの方法 等)
- ② 歩行者空間の創出ポータルサイト整備

I 歩行者空間の創出と魅力向上支援

① 共通デザインの案内サイン、 ストリートファニチャーの整備

I-① 共通デザインの案内サインの参考事例

レジブルロンドン「2015年までに世界一歩行者フレンドリーな都市にする」 歩行者向けの案内システム

出典： Legible London Yellow Book

◆セントラルロンドン(約21km²)で、まずパイロットプロジェクトを開始

◆検討から導入まで: 2005～2007年11月(約2年半)

- 既存の交通システムへのさらなる利便性、都市の健康レベル、経済、観光や環境問題に配慮した、市内を歩き回るために統一された情報を提供するシステムの開発
- これまでは「情報を提供したい側」の情報であり、「情報を必要としている側」のための情報ではない。この点をポイントとして、「歩行者のための情報」を整理することに努めた
- ロンドンの中心部の行政のみならず、近隣都市の行政や警察、民間企業、アクセシビリティに関する調査グループ等、多様な組織と内容を検討



Ⅱ 歩行者空間の創出の取組促進・支援

① 歩行者空間の創出の 手引書・デザインガイド

Ⅱ-① 歩行者空間の創出の手引書・デザインガイド

ランブリング東京 手引書・デザインガイド 検討方針

(目的)

歩行者空間の創出を企図する人たちの指針、参考になるものとし後押しする。

(対象)

- ・ 基礎自治体職員
- ・ エリアマネジメント組織等まちづくり組織

(内容)

- ・ 歩行者専用空間、溜まり空間創出のための方法
- ・ 荷捌き等の交通コントロールの方法
- ・ 交通管理者、道路管理者への対応
- ・ 活用できる事業制度(補助制度等)

- ・ 空間デザインの参考事例集

Ⅱ 歩行者空間の創出の取組促進・支援

② (仮称)ランブリング東京 ポータルサイト

Ⅱ-② (仮称)ランブリング東京 ポータルサイト

(仮称)ランブリング東京 ポータルサイト 整備の目的等

(目的)

歩行者空間の創出に関する情報発信、情報提供および、情報共有を行うことで、東京における歩行者空間の創出の取組((仮称)ランブリング東京)を促進する。

(対象)

- ・ 歩行者空間の創出を行っているまちづくり団体等や関係する自治体
- ・ (仮称)ランブリング東京の情報を得たい一般都民等

(内容)

- ・ 歩行者空間の創出の取組内容(期間、場所、内容 等)
- ・ 取組中の写真、参加者の感想等
- ・ 歩行者空間の創出に関する情報共有